

「大学改革とITの活用」 大学教育研究センター主催の講演会



講演する井端氏

2月14日、大学教育研究センター主催の井端正臣氏（私立大学情報教育協会事務局長）による講演会「大学改革とITの活用」が、大学リサーチセンター大会議室で開催された。新聞社による大学改革全学長アンケートの結果を基に、大学運営上の深刻な諸問題に関する現状の説明があり、問題解決のための改革の必要性と改革に関わる障害についての紹介がなされた。その中でも学力の低下は極めて深刻な問題であり、授業改善が重要な課題であることが指摘された。授業改善におけるITの有効性について、ハーバード大学、マサチューセッツ工科大学やスタンフォード大学などの事例を基にして説明がなされ、ITによって情報の地球規模での共有が実現し教育のグローバル化が進展していることも示された。IT活

用のポイントとして、「対面授業の補完、学ぶ授業、学ばせる環境、インタラクティブ」などが挙げられ、支援体制の重要性やオンライン学習における戦略についての分析もなされた。ITを活用した教育方法の工夫や、教育の情報化支援における課題と対応策についての意見が、事例を基にして述べられた。

本講演会を通して、ITの教育への活用については、電子化コンテンツの整備は言うに及ばず、教育システムの構築、FDの推進、授業評価、大学一体の教育支援体制などが重要であることが明らかにされた。

最後に、米国と日本の教育体制の違いなどに関して質疑がなされた。

（FD実施支援対策検討部会員

大学助教授・電気工学科 後藤英雄）